

平成 22 年 6 月 9 日

PRESS RELEASE

三井不動産株式会社  
三井ホーム株式会社  
柏の葉アーバンデザインセンター

## 柏の葉キャンパスエリアの街づくりの拠点 新生「柏の葉アーバンデザインセンター」9月オープン予定 ～三井ホームのツーバイフォー工法によりCO<sub>2</sub>排出量を大幅削減～

■三井不動産株式会社、三井ホーム株式会社、柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）は、つくばエクスプレス・「柏の葉キャンパス駅」東口に、今年9月、新生「柏の葉アーバンデザインセンター」をオープンいたします。

### <UDCKについて>

■UDCKは柏の葉キャンパスエリアの街づくりの拠点として、平成18年11月に柏の葉キャンパス駅西口に開設されました。東京大学・千葉大学・柏市が中心となり運営し、三井不動産グループは各種活動のサポートをしています。市民や大学の研究者、民間企業、行政の担当者などが集まり、意見交換をしながら街づくりの推進や情報発信を行っているほか、市民を対象としたセミナーやワークショップ、イベント、社会実験などを多数開催し、高齢者や子どもも含めた多くの地域住民が集まり交流する「公共施設」としての機能も担っています。

■また、UDCKでは「環境・健康・創造・交流の街」という当エリアの街づくりのコンセプトに基づき、地域の環境に貢献する建築や交通、街づくりのあり方についても、幅広い研究や社会実験を行ってきました。今後は、研究や社会実験の成果を、実際の空間計画や社会システムに反映していくなど、活動の幅をさらに広げ、世界に誇れるキャンパスシティづくりを進めてまいります。

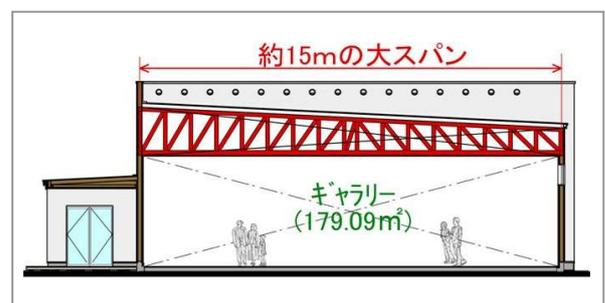
### <建築物としての特徴>

■防火地域において大規模・大空間の施設を建築する場合、建築基準法の規定により、鉄骨造や鉄筋コンクリート造が一般的でした。しかし、ツーバイフォー工法は平成16年に国土交通大臣より耐火構造認定を取得、防火地域での木造建築が可能となりました。当施設では、柱組材をトラス構造で強化したツーバイフォー工法を採用し、耐震性能を飛躍的に高めることで、壁面間隔15m以上の大空間を低コストで実現します。また、炭素固定素材である木材を使用しており、鉄筋コンクリート造と比較し、建築時のCO<sub>2</sub>排出量が1㎡あたり0.49t少なく、施設全体で合計約145tのCO<sub>2</sub>排出量を削減（\*）します。

■竣工後は、当施設を社会実験の場と位置づけ、木材が持つ環境貢献性、都市景観に寄与する木の温もりやデザイン性、柔軟な床構造による安全性等について、専門家や利用者とともに評価を行うなど、大空間建築物における木材利用の有用性を検証してまいります。また、三井ホームは、今回の建築をモデルケースとし、木造耐火建築の分野において、「大規模・大空間の木造施設づくり」に積極的に取り組んでまいります。



完成予想CG



約15mの大スパンで柱のない大空間を実現

## <新生「柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）」施設概要>

所在地：千葉県柏市若柴 184-1 柏の葉キャンパス 149 街区 13

交通：つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス駅」東口徒歩 1 分

敷地面積：1,011 m<sup>2</sup>

延床面積：294 m<sup>2</sup>

建物構造：ツーバイフォー工法

スケジュール：着工 平成 22 年 4 月

竣工 平成 22 年 8 月末（予定）

オープン 平成 22 年 9 月初旬（予定）

### \* CO<sub>2</sub>排出抑制効果について

日本建築学会「建築が地球環境に与える影響」（平成 4 年）を参考に、新築時の炭素放出量を、鉄、セメント、木材など建築材料の製造時の炭素放出量と、建材運輸時の炭素放出量の合算から、木材の炭素固定量を差し引いて算出。鉄筋コンクリート造の新築時炭素放出量は建物面積 1 m<sup>2</sup>あたり 133 kg、木造は同 -2 kg。この差異 135 kg に対し、炭素から CO<sub>2</sub> への換算値 3.66 kg を乗じて、建物面積 1 m<sup>2</sup>あたりの CO<sub>2</sub> 排出比較量を算出しています（三井ホーム株式会社）。

以 上

<添付資料> 「柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）」について

現所在地：千葉県柏市若柴字元堂 178-3 柏の葉キャンパス駅前 148 街区 3 画地

設立：平成 18 年 11 月

センター長：大和 裕幸（東京大学大学院新領域創成科学研究科 研究科長・教授）

構成団体：柏市、柏商工会議所、田中地域ふるさと協議会、三井不動産株式会社、  
首都圏新都市鉄道株式会社、東京大学、千葉大学（7 団体による共同運営）

- 主な活動：
- 大学、企業、自治体、市民（市民団体）等の連携による、柏の葉地域におけるまちづくりの推進
  - 柏の葉地域ならびにつくばエクスプレス沿線の都市デザイン
  - 大学、企業、自治体、市民等の連携による研究・教育活動と社会実験、新規事業の創出
  - 市民を対象とした各種セミナーやフォーラム、市民活動のサポート

これまでの主な活動内容		年間の実施回数 (平成 21 年度)
まちづくりに関する会議	地域関係者による、まちづくりの計画・推進のための会議等	237 回
大学の講義・演習	柏の葉地域をフィールドとしたアーバンデザイン演習等	83 回
フォーラム/イベント	幅広い市民のまちづくり参加を促すセミナーや体験型イベント等	54 回
国内外からの視察	世界中の自治体・企業・団体等による先進的まちづくり事例としての視察	40 回
ワークショップ	市民がまちづくり手法を学ぶ「UDCK まちづくりスクール」等	35 回
市民活動	市民の手により企画・運営されている「まちのクラブ活動」等	22 回



市民がまちづくりを学ぶ「UDCK まちづくりスクール」



環境建築のあり方を議論する「UDCK 環境フォーラム」



東京大学の学生が科学の楽しさを地域住民に伝える教育プログラム「サイエンスカフェ at 柏の葉」



地域住民の健康と交流の促進を目的とした柏の葉オリジナル体操「はっぴっぴ体操」の講習会